

四国支部 研究委員会「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」の委員公募について

応募期限：2018年6月29日（金）

日本コンクリート工学会 四国支部

日本コンクリート工学会四国支部では、平成30年度から研究委員会「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」（委員長：徳島大学大学院 橋本親典、幹事長：徳島大学大学院 塚越 雅幸）が発足します。つきましては、下記のとおり委員を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

記

1. 応募方法：E-Mail もしくは FAX で下記まで①氏名，②所属・連絡先を送る。
徳島大学大学院 塚越 雅幸
TEL：088-656-7349，FAX：088-656-7351
E-mail：mtsukagoshi@ce.tokushima-u.ac.jp
2. 応募資格：四国支部圏内（香川県，徳島県，高知県，愛媛県）に在住または勤務する四国支部所属会員とする。
3. 応募期限：2018年6月29日（金）
4. 選考方法：委員長が行う。
5. 目的および活動内容：
土木学会では、2016年に、CUS を用いたコンクリートの設計施工指針の改訂が行われた。日本建築学会でも同様な指針が発刊される予定である。瀬戸内海に隣接する四国地域は、国内で大量に銅スラグ細骨材（CUS）が副産される地域の1つであるが、四国地域が、コンクリート用骨材として CUS の利用普及に至っている地域とは言い難い現状である。
本研究委員会の目的は、CUS をコンクリート用骨材として利用普及させるための種々の技術的課題を抽出し、その課題の解決方法を検討し、四国地域での CUS コンクリートの利用促進の方策を提案することである。予定している活動内容を以下に示す。
①海砂代替として CUS2.5 を生コンに使用する場合の使用法のガイドライン作成
②120 トンクラスの消波ブロック用重量コンクリートに使用する場合の使用法のガイドライン作成
③これまでの四国内での CUS を用いたコンクリートの施工実績の調査
④四国内の生コン工場を対象として CUS 利用を想定したアンケート調査の実施
6. その他：研究委員会の活動は原則として2年間とする。